



月刊
住宅情報誌
躍進
http://www.yakushin.jp



躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

- 主な内容
- ②面 外構工事にますます依頼が寄せられています!
 - ③面 塗装、手すり、駐輪場システムの総合提案
 - ④面 NEDO、太陽熱活用型住宅への改築技術を検証

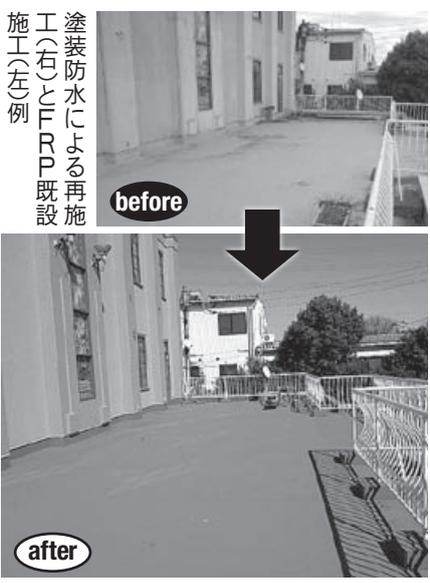
発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井輝夫
頒価：216円(送料込み)

「塗装防水」の
依頼も多数

「足場パツク」FRPシート防水の
再施工をお勧め
します!

躍進の総合リフォーム提案「足場パツク」には各種工事がラインナップされていますが、やはり、三大事業とされる防水、木材保存、塗装がメインとなります。

そして、この時期には、戸建て住宅のFRP防水をはじめ、大型物件の屋上やバルコニーにおけるウレタン防水、塩ビシート防水の「再施工」のご依頼、ご質問が多く寄せられます。



塗装防水による再施工(右)とFRP既設施工(左)例

梅雨までに
点検・
再施工



FRP防水は一〇年保証です。しかし、防水層を保護するトップコートの塗り直しなどをしないと、防水効果が薄れている事もあります。日常生活での履物によるトップコートの損傷や、ドレン部分の詰まりによるオーバーフロなどには、適切な対策が必要です。

さらに、様々な経年劣化にも早期に手を打ち、総合的再施工となる「塗装防水」を施せば資産価値もアップします。

孔子の言葉に「老人には安心されるように、友達には信じられるように、若者には慕われるようになることだ」とあります。

このような素晴らしい人格、人間性は、環境によって形作られるといわれます。その環境を良い方向へ変えていくのは、志を持った人間なのです。

志のある人は、自らのいく道を切り開き、良き師、良き友に恵まれ、誰よりも学び、励まされ、一度しか無い人生を有意義に創造していくものです。

人生を良くするのも悪くするのも、自分の志次第なのです。そこで、江戸時代後期の儒学者・佐藤一斎の思索をまとめた『言志四録』の一部を紹介いたします。

「学問をするには、志を立て、これを達成する為には心を奮い立たせることが大事である。しかも、その志は人から言われてやるのではなく、自分の本心から出たものでなければならぬ」とあります。

このように、高い志を立てることが、いかに大事であるかがお分かりいただけると思います。

志は、自分自身との誓いであり、まさに学で学ぶことは、目的を達成するための過程に過ぎません。そして、学びから得たものは、その後の人生にも大きな影響を与えます。



「誓願」とされるものです。一度決めたことは、何があっても止めることなく、最後までやるべきことが大事なのです。

志を「誓願」と捉えるならば、それは自分に課せられた使命ともいえるのではないのでしょうか。

その使命を心に刻んだのであれば、そこか意識を持っている人は、価値創造の人生をまっしぐらに突き進んでいきましょー!

「学問をするには、志を立て、これを達成する為には心を奮い立たせることが大事である。しかも、その志は人から言われてやるのではなく、自分の本心から出たものでなければならぬ」とあります。

このように、高い志を立てることが、いかに大事であるかがお分かりいただけると思います。

志は、自分自身との誓いであり、まさに学で学ぶことは、目的を達成するための過程に過ぎません。そして、学びから得たものは、その後の人生にも大きな影響を与えます。

このように、高い志を立てることが、いかに大事であるかがお分かりいただけると思います。

志は、自分自身との誓いであり、まさに学で学ぶことは、目的を達成するための過程に過ぎません。そして、学びから得たものは、その後の人生にも大きな影響を与えます。

このように、高い志を立てることが、いかに大事であるかがお分かりいただけると思います。

志は、自分自身との誓いであり、まさに学で学ぶことは、目的を達成するための過程に過ぎません。そして、学びから得たものは、その後の人生にも大きな影響を与えます。

ぜひ、梅雨までには防水の「再施工」を実施し、気軽にお電話を。

外構工事に

ますます依頼が注目度急上昇! ますます依頼が寄せられています



before



after

塀のデザインを変えただけで資産価値がグンとアップ
本年度より、新規事業部として発足した外構事業部には、ご依頼、お問い合わせが多数寄せられています。
お客さまが躍進に期待していらっしゃるの、やはりデザイン性です。
左の写真は、二〇一〇年に躍進がリフォーム総合提案である「足場パック」の一環として手がけた物件です。

築二〇年以上を経過した中古住宅ですが、施工前(写真上)を見て、他の同等物件に見劣りするものではありません。
しかし、お客さまの「高級感溢れる落ち着いた外観を確保してほしい」というご要望に応え、シックな色合いの自然石風の石材を用い、欧風の外観に生まれ変わらせたのです。
この物件が評価され、せない要素です。既報でもお届けしたように、デザイン性の確保は、差別化、資産価値アップにつながります。ハイセンスな外構工事は躍進におまかせください。

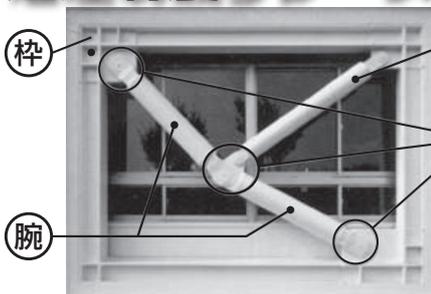
開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

ますます好評!

増幅機構付き 油圧制震ブレース

トグル制震構法



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や剛性が必要とされる部分に使われます。

鍛造品を使用!

お問い合わせは
躍進までお気軽に!
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

《 集合住宅など 商業施設 》 大型物件には 欠かせない 《

塗装 手すり 駐輪場システム の総合提案

躍進の総合リフォーム提案「足場パック」では、新しいパッケージとして、大型物件向けに「塗装、手すり、駐輪場システム」を総合提案しております。どれも資産価値アップには欠かせないものばかりです。お気軽にお問い合わせください。

躍進の定番商品となりました!

●●● 波形手すり『QUNETTO』(クネット) ●●●

手すりを持つ手の動きや角度を追究すると、「取っ手」のように使える垂直部と、「杖」のように使える水平部を連続させた波形のカタチになりました。まっすぐな手すりと比べて握った時の手首の角度が自然なため、握り込みやすく、滑りにくい設計です。

トイレや階段、段差のある玄関など、生活のさまざまな場面や場所ですべての人にその使い心地を実感していただけます。

「クネット」の手すりで上る



引っぱりやすい



「クネット」の手すりで下る





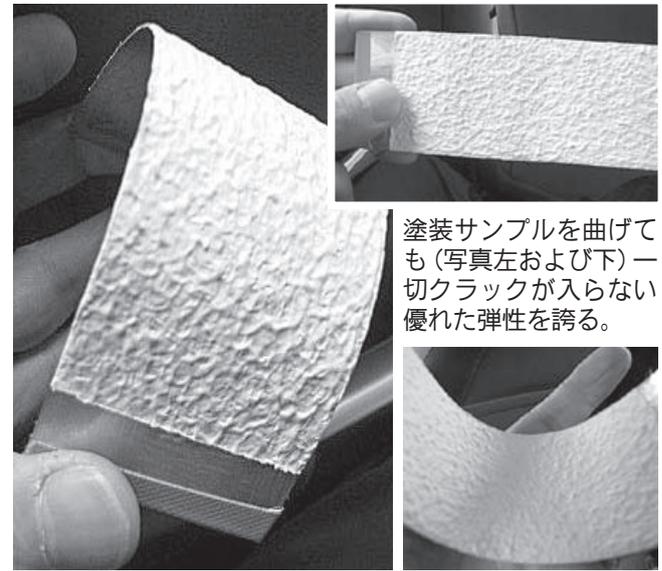
しっかり支える



つや消し高弾性外壁塗料

●●● 『ビュークリーンウォール』 ●●●

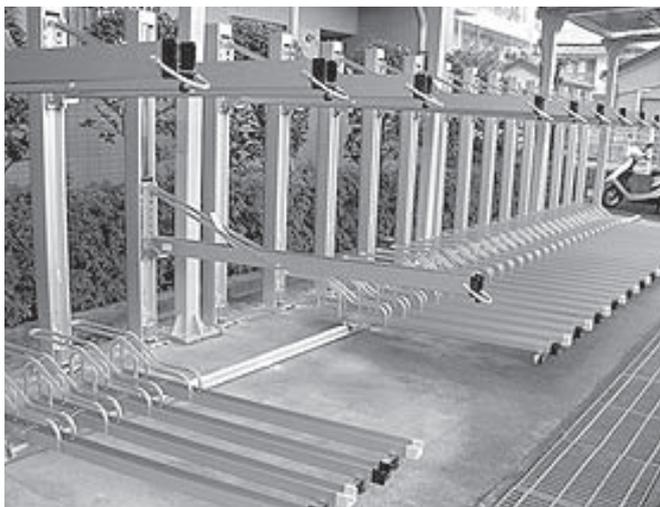
「足場パック」の人気商品。「柔らかいのに汚れにくい」性質が人気の秘密です。表層の硬質ナノ被膜がトップコートを不要にしました。さらに、塗膜表層にナノビーズが配列され汚れをガードし、ラジカル架橋(紫外線効果による反応)によって汚れを跳ね返す強靱な鎧となっております。



●●● 駐輪場システム ●●●

平置きポート、傾斜式、前輪式、スライドラック、下段固定式、下段スライド式、さらには時間貸しシステムなど、お客様のニーズに合わせた駐輪場システムをご提案いたします。

新設、既設、規模の大小に拘わらず、お気軽にご相談ください。



マンション、アパート、公共駐輪場に最適の駐輪場システムで、スペース削減を実現しました。二段目への駐輪も女性が片手で楽に収納できます。さらに、二段目から自転車を取り出した後はオートリターンで「手間いらず」です。



ニエース・新製品・政策・経営・インフラオペレーション

NEDO 太陽熱活用型住宅への 改築技術を検証

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、二〇一五年度予算で既存住宅を太陽熱エネルギー活用型住宅に改築する技術を検証する事業を実施します。

対象となる住宅を改築し、各要素技術の省エネルギー効果と住宅全体での省エネルギー効果を検証し、経済省は二月十三日に開かれた、買取価格を検討する「調達価格等算定委員会」(委員長・植田和弘・京大大学院教授)の会合で事務局案として提示しました。

柱の接合部に弱点!? 新耐震住宅の65%が「釘止め」程度 木耐協調査

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(=木耐協、東京都千代田区)は2月17日、1981年から2000年5月に着工された2階建て以下の木造住宅のうち、柱の接合部の仕様が「釘止め」程度の家が65%にのぼると公表しました。

2006年4月から2014年末までに木耐協で実施した耐震診断のうち、診断結果を把握している2万113件の柱の接合部に着目。接合部仕様は日本建築防災協会により、現行の新築基準相当(2000年建設省告示1460号に適合)、3kN以上の金物、3kN未満の金物(釘止め程度)に規定されており、これに照らして分析を行いました。

それによると、1950年から1980年に建てられた旧耐震基準住宅の9割以上は接合部仕様が釘止め程度でしたが、新耐震基準となる1981年以降は徐々に改善。1996年から2000年に建てられた住宅だと釘止め程度が約4割まで低減しているものの、新耐震基準住宅全体での割合は65%にのぼり、柱の接合部に課題があることがわかりました。

近所の空き家、半数がネガティブイメージ

ALSOK(東京都港区)が実施した「空き家に関する意識調査」によると、家のまわりにある空き家について、「不安」「危険」「汚い」など不快に感じている人は合計45.8%と、多くの人が近所の空き家に対してネガティブイメージを持っていることがわかりました。

今回の調査で家の近所に空き家があると回答した人は33.2%で、近所の空き家にネガティブイメージを持っている人に理由を聞いたところ、「物件が老朽化して倒壊する恐れがあるから」(66.1%)、「伸びた庭木や落ち葉を放置しているから」(53.6%)、「不審者が住み着くかもしれないから」「放火されるかもしれないから」(ともに44.6%)となりました。

調査方法はインターネット調査で、対象は全国の親と別居している30歳以上の男女500人。調査期間は2015年1月10日から15日。

安定的に運用するには、燃料調達に課題のひとつ。大規模発電所の場合、燃料を集積する必要があり、燃料運搬費の割合が高くなります。これに対し小規模な木質バイオマス発電設備は、素材産地の近くに設備が設けられるため燃料の融通がしやすいのですが、設備面での費用負担が大きくなっています。事務局資料では、発電規模が二〇〇〇kWを下回ると建設費が増加する傾向にあると指摘されています。

省エネ住宅ポイント申請受け付け、三月十日開始予定

国土交通省は二月十六日、省エネ住宅ポイントの事務局を開設したと発表しました。ポイント発行申請の受け付けは、三月十日の開始を予定しています。

現在、取得したポイントと交換できる商品の募集を行っています。申請書の様式や申請に必要な添付書類については申請受付開始日までに事務局のホームページにて公表するとしています。

Table with 2 columns: 工事業 (防水, 木材保存, 外壁・屋根, 塗装, 地質調査・改良, 基礎・スーパーエアドーム工法, 建て方・大工リニューアル・リフォーム, オール電化, 太陽光発電) and 設計事業 (設計, 商業施設, インテリアコーディネーター) etc.

提携先 弁護士/公認会計士/税理士/司法書士/ファイナンシャルプランナー(CFP/AFP)

躍進 営業所の所在地 東北地区もエリアにおさめ 「百年企業」としての 機動力を確保! Map showing branches in Sendai, Tokyo, and other regions.

株式会社 躍進 お気軽にお問い合わせ・ご相談下さい。 躍進 検索 をクリックして下さい。 関連会社 ヤクシンジャパン First Arrow ファーストアローズ